

座談会

# 生きる＝アート

## チラシの裏がキャンバスになる日常

チラシの裏に描く人がいます。

誰かの評価を得たくて描く訳ではありません。

有名な人がもてはやされる時代に、

無名ながら、描くことで「生き活き」と生きてきた人々がいます。

障がいについて、生きること、アートにかかわることなど、

それぞれの立場から色んなお話をお聞きます。

来場者のみなさんませひ、気軽にご参加ください。



3月2日(土) 13:30～ 約1時間30分予定

ぎふ清流プラザ 2F ホワイエ 参加自由

ファシリテーター

TASCぎふ美術アドバイザー

土屋明之

TASCぎふ活用アドバイザー

古田菜穂子

出演者

岐阜県美術館学芸第一課長

青山訓子氏

オープンハウスCAN代表

伊藤佐代子氏

早川工業代表取締役社長

大野雅孝氏

TASCぎふ障がい者economy・トータルアドバイザー

一般社団法人日本ユニバーサルデザインライフ協会会長

曾我部弘樹氏

場所かさじゅう主宰

土川修平氏

アトリエ☆ジグザグ代表、陶芸家

中村崇氏

風の芸術村代表

三上みぎ氏

あいせつ

岐阜県健康福祉部障害福祉課次長

山田恭氏

